高等学校 令和6年度 (1学年用) 教科 アートクラフト 科目 ACI

 教 科: アートクラフト
 科 目: ACI
 単位数: 2 単位

 教 科: アートクラフト
 科 目: ACI

 対象学年組:第 1 学年 A 組~
 組

教科担当者: (A組:廣川) (A組:小浦)

使用教科書: (デザインの色彩)

教科 アートクラフト の目標:

【知 識 及 び 技 能】彫金・鍛金・鋳造の金属工芸技法の基礎を理解し、実材実習での制作を通して造形美を探究する 【思考力、判断力、表現力等】各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につける

【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢と自分らしい造形力を養い、世に有意義な作品制作や仕事ができる

科目 ACI

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
彫金・鍛金・鋳造の金属工芸技法、美術史の基礎を理解し、実材実習での制作を通して造形美 を探究する	ける。美術作品の観察を通して思考、表現力を	素材や作品を大切に扱う姿勢と自分らしい造形力を養い、世に有意義なアート思考や作品制作、仕事ができる

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	接合に関する理論的かつ実践的な能力を身につける	・軟ろう付け、硬ろう付け、アーク 溶接、ガス溶接、電気抵抗溶接、鍛 接 ・Ipadを活用した金属材料に関する 調ベ学習	【知識・技能】接合に関する基礎的な知識と技能を習得し、接合ついて理解できる 【思考・判断・表現】実習で活用することができる 「きる」 【主体的に学習に取り組む態度】 接合時に使用する金属材料に関する調べ学習ができる	0	0	0	8
1 学期	鍛金技法に関する理論的かつ実践的 な能力を身につける	・絞り技法 ・1padを活用した金属材料に関する 調ベ学習	【知識・技能】絞り技法に関する基礎的な知識 と技能を習得し、絞り技法ついて理解できる 【思考・判断・表現】実習で発展的に活用する ことができる 【主体的に学習に取り組む態度】 鍛金技法で使用する金属材料に関する調べ学習 ができる	0	0	0	9
	鋳金技法に関する理論的かつ実践的 な能力を身につける	・鋳金技法 ・Ipadを活用した金属材料に関する 調ベ学習	【知識・技能】鋳金技法に関する基礎的な知識と技能を習得し、鋳金技法について理解できる 【思考・判断・表現】実習で発展的に活用することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 鋳金技法で使用する金属材料に関する調べ学習ができる	0	0	0	9
	彫金技法に関する理論的かつ実践的 な能力を身につける	・彫金技法 ・1padを活用した金属材料に関する 調ベ学習	【知識・技能】彫金技法に関する基礎的な知識と技能を習得し、彫金技法について理解できる 【思考・判断・表現】実習で発展的に活用する ことができる 【主体的に学習に取り組む態度】 彫金技法で使用する金属材料に関する調べ学習 ができる	0	0	0	9
2	表面処理に関する理論的かつ実践的な能力を身につける	・金、銀鍍金について・1padを活用した銅、銀合金、鉄、アルミ、その他の金属に関する調べ学習	【知識・技能】表面処理に関する基礎的な知識と技能を習得し、表面処理について理解できる 【思考・判断・表現】実習で発展的に活用する ことができる 【主体的に学習に取り組む態度】 表面処理で使用する金属材料に関する調べ学習 ができる	0	0	0	9
学期	色彩に関する理論的かつ実践的な能 力を身につける	· 表色系 • 三原色 • 補色、対比	【知識・技能】色彩に関する基礎的な知識と技能を習得し、色彩ついて理解できる 【思考・判断・表現】色彩構成作品を制作することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 色彩構成作品についてプレゼンテーションする ことができる	0	0	0	9
	美術・工芸・デザイン作品に関する 思考力を身に着ける	・原始から古代、中世の美術 ・Ipadを活用した美術作品に関する 鑑賞学習	【知識・技能】美術史に関する基礎的な知識と 技能を習得し、美術史について理解できる 【思考・判断・表現】美術の起源について思考 することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 美術作品に関するIpadを活用した鑑賞学習がで きる	0	0	0	8
3 学	思考力を身に着ける	ロック、ロココの美術 ・lpadを活用した美術作品に関する 鑑賞学習	【知識・技能】美術史に関する基礎的な知識と 技能を習得し、美術史について理解できる 【思考・判断・表現】近現代の作品へ至る美術 史の流れをルネッサンス期から写実主義の美術 作品から思考することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 美術作品に関するIpadを活用した鑑賞学習がで きる	0	0	0	9
子期	美術・工芸・デザイン作品に関する 思考力を身に着ける	 ・近現代の美術、デザイン ・1padを活用した美術作品に関する 鑑賞学習 	【知識・技能】美術史に関する基礎的な知識と 技能を習得し、美術史について理解できる 【思考・判断・表現】近現代の作品の観察を通 して思考、表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 美術作品に関するIpadを活用した鑑賞学習がで きる	0	0	0	8 合計 78

高等学校 令和6年度 (1学年用)教科 アートクラフト 科目 工業技術基礎

教 科: アートクラフト 科 目: 工業技術基礎 単位数: 4 単位

対象学年組:第 1 学年 A 組~ 組

教科担当者: (A組:廣川) (A組:氏家) (A組:宇高)

使用教科書: (工業技術基礎)

を続けられる

教科 アートクラフト の目標:

【知識及び技能】

効率の良い加工の順序を理解し、丁寧な加工を

【 知 識 及 び 技 能 】彫金・鍛金・鋳造の金属工芸技法の基礎を理解し、実材実習での制作を通して造形美を探究する 【思考力、判断力、表現力等】各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につける

【思考力、判断力、表現力等】

完成の図形に近づけられるように、適切な加工

【学びに向かう力、人間性等】

自分の作品を使う人の立場になって、丁寧な仕上げ加工ができる

【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢と自分らしい造形力を養い、世に有意義な作品制作や仕事ができる

科目 工業技術基礎

する

					配当		
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	時数
		地金取り (金切鋏) 、焼き鈍し、 絞り ・鋳金 デザイン、製図、挽き 板、鳥目箱製作。 ・彫金 おたふく鎚製作、デザイ	【鍛金】金鎚を適切にすげられたか。効率よく 絞りが出来たか 【鋳金】鋳造に適した図案を考案し、効率よく 鳥目箱を製作できたか。 【彫金】おたふく鎚製作、擦り出しに適した図 案、熔解が効率よく出来たか	0	0	0	17
1 学期		・鍛金 小鉢本体の焼き鈍し、絞り。本体均し仕上げ。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	【鍛金】効率よく絞れたか 【鋳金】 適切な蝋引きが出来たか 【彫金】展延、ロウ付け、擦り出しを効率よく 出来たか	0	0	0	17
		・鍛金 蓋、内枠制作(金切 鉄)、打出し(松脂) 均し、はん だ付け、仕上げ。 ・鋳金 ブロンズ鋳込み、湯道切除、鱧がけ、分銅、仕上げ。 ・彫金 擦り出し加工、打出し、 ロウ付け、刻印、鏡面仕上げ加 工。	【鍛金】打出し、均し、仕上げ加工を効率よく 丁寧に出来たか 【鋳金】 ブロンズの鑢がけと仕上げ加工を効率よく出来たか 【彫金】打出し、仕上げ加工を丁寧に効率よく 出来たか	0	0	0	18
		地金取り(金切鋏)、焼き鈍し、 絞り ・鋳金 デザイン、製図、挽き 板、鳥目箱製作。 ・彫金 おたふく鋭製作、デザイ	【鍛金】金鑓を適切にすげられたか。効率よく 絞りが出来たか 【鋳金】鋳造に適した図案を考案し、効率よく 鳥目箱を製作できたか。 【彫金】おたふく鎚製作、擦り出しに適した図 案、熔解が効率よく出来たか	0	0	0	17
2 学期		・鍛金 小鉢本体の焼き鈍し、絞り。本体均し仕上げ。 ・鋳金 蝋引き原型制作。 ・彫金 叩き締め、銀地金展延、成形、ロウ付け、擦り出し加工。	【鍛金】効率よく絞れたか 【鋳金】 適切な蝋引きが出来たか 【彫金】展延、ロウ付け、擦り出しを効率よく 出来たか	0	0	0	17
		・鍛金 蓋、内枠制作(金切 鉄)、打出し(松脂) 均し、はん だ付け、仕上げ。 ・鋳金 ブロンズ鋳込み、湯道切 除、鑢がけ、分銅、仕上げ。 ・彫金 擦り出し加工、打出し、 ロウ付け、刻印、鏡面仕上げ加 工。	【鍛金】打出し、均し、仕上げ加工を効率よく 丁寧に出来たか 【鋳金】 ブロンズの鑢がけと仕上げ加工を効率よく出来たか 【彫金】打出し、仕上げ加工を丁寧に効率よく 出来たか	0	0	0	18
	・鍛金 銅板による鍛金小鉢の制作をとおして、金属工芸関連の知識・金属工芸関連の知識・金属工芸関連の知識・プロンズ卓上ベルを制作し、ウタトワックス、縄繰中子法の技法を学浴。した銀地金で擦り出し指輪を打出し作品を制作し、彫金技法を学ぶ。	地金取り (金切鋏)、焼き鈍し、 絞り ・鋳金 デザイン、製図、挽き 板、鳥目箱製作。 ・彫金 おたふく鍵製作、デザイン、地金計量、熔解。	【鍛金】金鑓を適切にすげられたか。効率よく 絞りが出来たか 【鋳金】鋳造に適した図案を考案し、効率よく 鳥目箱を製作できたか。 【彫金】おたふく鎚製作、擦り出しに適した図 案、熔解が効率よく出来たか	0	0	0	18
3 学期		・鍛金 小鉢本体の焼き鈍し、絞り。本体均し仕上げ。 ・鋳金 蝋引き原型制作。 ・彫金 叩き締め、銀地金展延、成形、ロウ付け、擦り出し加工。	【鍛金】効率よく絞れたか 【鋳金】 適切な蝋引きが出来たか 【彫金】展延、ロウ付け、擦り出しを効率よく 出来たか	0	0	0	17
		・鍛金 蓋、内枠制作(金切 鉄)、打出し(松脂) 均し、はん だ付け、仕上げ。 ・鋳金 ブロンズ鋳込み、湯道切除、鱧がけ、分銅、仕上げ。 ・彫金 擦り出し加工、打出し、 ロウ付け、刻印、鏡面仕上げ加 工。	【鍛金】打出し、均し、仕上げ加工を効率よく 丁寧に出来たか 【鋳金】 プロンズの鑢がけと仕上げ加工を効率よく出来たか 【彫金】打出し、仕上げ加工を丁寧に効率よく 出来たか	0	0	0	17 合計 156

高等学校 令和6年度(1学年用)教科 アートクラフト 科目 実習A

単位数: 3 単位 教 科: アートクラフト 科 目: 実習A

対象学年組:第 1 学年 A 組~ 組

教科担当者: (A組:垣内) (A組:氏家) (A組:宇高)

使用教科書: (デザインの色彩)

につける

教科 アートクラフト の目標:

【知識及び技能】

金属工芸の歴史と材料及び美術工芸史の知識を

【知 識 及 び 技 能】彫金・鍛金・鋳造の金属工芸技法の基礎を理解し、実材実習での制作を通して造形美を探究する 【思考力、判断力、表現力等】各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につける

【思考力、判断力、表現力等】

実在実習での加工技術を前提にした思考力を身

【学びに向かう力、人間性等】

歴史的名品の造形美と貴重な金属材料での制作

13

13

合計

の意義を理解する

【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢と自分らしい造形力を養い、世に有意義な作品制作や仕事ができる

科目 実習A

深める

3 学期

絵画

• 絵画

指導事項

・教材

の静物描写。

・デッサン 人物クロッキー、 幾何形体の質感描写。・デザイン パターンデザイ

の人物描写。 ・デッサン 人物クロッキー、 水張り、静物デッサン。 ・デザイン 装飾デザイン。・

・一人1台端末の活用 等

透明水彩絵の具で

装飾デザイン。・

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配計時
	ン 立体を正確に把握し、対象を丁 寧に描写する。	扱い方と構図、用紙について理解 する。 ・デッサン デッサンをする意 味と構図、質感、立体感の表現方 法を理解する。	【絵画】適正な構図や着彩をすることが出来たか。 【デッサン】立体を正確に把握し、対象を丁寧に描写することが出来たか。 【デザイン】ポスターカラーや色鉛筆などを丁寧に使用して、イメージどおりの作品が出来た	0	0	0	13
1 学朝		・絵画 透明水彩絵の具での静物描写。 ・デッサン 人物クロッキー、 幾何形体の質感描写。 ・デザイン パターンデザイン。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	0	0	0	1
		・絵画 透明水彩絵の具での人物描写。 ・デッサン 人物クロッキー、水張り、静物デッサン。 ・デザイン 装飾デザイン。・指導事項 ・ 大り 台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	0	0	0	1
	ン 立体を正確に把握し、対象を丁 寧に描写する。	扱い方と構図、用紙について理解する。 ・デッサン デッサンをする意味と構図、質感、立体感の表現方法を理解する。 ・デザイン 基本的な筆遣いと	【絵画】適正な構図や着彩をすることが出来たか。 【デッサン】立体を正確に把握し、対象を丁寧に描写することが出来たか。 【デザイン】ポスターカラーや色鉛筆などを丁寧に使用して、イメージどおりの作品が出来た				1
2	у 🕹 о	絵の具の溶き方を理解する。 ・絵画 透明水彩絵の具での静物描写。 ・デッサン 人物クロッキー、 幾何形体の質感描写。 ・デザイン バターンデザイン。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】				1
学明		 絵画 透明水彩絵の具での人物描写。 デッサン 人物クロッキー、水張り、静物デッサン。 デザイン 装飾デザイン。・指導事項・教材・一人1台端末の活用等 	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】				1
	ン 立体を正確に把握し、対象を丁 寧に描写する。	扱い方と構図、用紙について理解 する。 ・デッサン デッサンをする意 味と構図、質感、立体感の表現方	【絵画】適正な構図や着彩をすることが出来たか。 【デッサン】立体を正確に把握し、対象を丁寧に描写することが出来たか。]

透明水彩絵の具で 【知識・技能】

【思考・判断・表現】

【思考・判断・表現】

【知識・技能】

【主体的に学習に取り組む態度】

【主体的に学習に取り組む態度】

高等学校 令和6年度 (1 学年用) 教科 アートクラフト 科目 製図 教科: アートクラフト 科目: 製図 単位数: 2 単位 対象学年組:第 1 学年 A 組~ 組

教科担当者: (A組:垣内)

使用教科書: (基礎製図)

の目標: 教科 アートクラフト

【 知 識 及 び 技 能 】彫金・鍛金・鋳造の金属工芸技法の基礎を理解し、実材実習での制作を通して造形美を探究する 【思考力、判断力、表現力等】各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につける 【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢と自分らしい造形力を養い、世に有意義な作品制作や仕事ができる

科目 製図

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・モノ作りに必要な製図の基礎を理解、製作に あたり図面化と変更点の適応性、図面における 表記の理解と知識	にあたり図面化と変更点の適応性、図面におけ	・モノ作りに必要な向上心や制作するにあたり必要な心配り(面取りや表面粗さなど)使う手への配慮と工夫。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
	線の文字の練習:文字の書き方と線 の練習をし、基礎・基本を身に付け させる。		作図することにより製図機器の使用法を理解できたか。モノ作りに必要な製図の基礎を理解できたか。	0	0	0	8
	基礎:レンダリングについて、描き 方、練習。図形の練習基礎	・指導事項・教材・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	0	0	0	9
	応用:図形の練習をし、応用テクニックを身に付けさせる。 投影図の作図 (基礎)	 指導事項 教材 一人1台端末の活用 等 	【知識・技能】 【思考・判断・表現・計画性】 【主体的に学習に取り組む態度】	0	0	0	9
	投影図の作図 (応用):展開図の 書き方と理解、基礎から応用	 ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 	【知識・技能】 【思考・判断・表現・計画性】 【主体的に学習に取り組む態度】	0	0	0	9
2	投影図の作図 (応用):トースカン本体の作図実習。(スパナ・豆ジャッキ等)	 ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 	【知識・技能】 【思考・判断・表現・計画性】 【主体的に学習に取り組む態度】	0	0	0	9
学期	投影図の作図 (応用): トースカンの立体図作図。 (スパナ・豆ジャッキ等)	 ・指導事項 ・数材 ・一人1台端末の活用 等 	【知識・技能】 【思考・判断・表現・計画性】 【主体的に学習に取り組む態度・積極性】	0	0	0	9
	投影図の作図 (応用): トースカンの立体図作図。 (スパナ・豆ジャッキ等)	 指導事項 教材 一人1台端末の活用 等 	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度・積極性】	0	0	0	8
3 学	等角図とテクニカルイラストレーションの練習:テクニカルイラストレーションの練習:テクニカルイラストレーションの書の基礎を学び、テクニカルイラストレーションの基本を身に付けさせる	・教材 ・一人 1 台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	0	0	0	9
子期	等角図とテクニカルイラストレーションの練習:等角図の基礎を学び、テクニカルイラストレーションの基本を身に付けさせる	・指導事項・教材・一人1台端末の活用	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	0	0	0	8 合計 78

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科 アートクラフト 科目 実習A

教 科: アートクラフト 科 目: 実習A 単位数: 4 単位

対象学年組:第 2 学年 A 組~ 組

教科担当者: (A組: 宇高) (A組: 三宅) (A組: 廣川) (A 組: 中村)

使用教科書: (なし)

教科 アートクラフト の目標:

【知 識 及 び 技 能】彫金・鍛金・鋳造の金属工芸技法の基礎を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する 【思考力、判断力、表現力等】各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する

【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢とより自分らしい造形力を養い、世に有意義な作品制作や仕事ができる

科目 実習A

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	絞りができる。精密鋳造の技法を理解し丁寧	貴重な金属材料での制作の意義と歴史的名品 の造形美を踏まえ、粘り強く丁寧に制作する ことの大切さを理解する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	「彫金」金属板や線材で植物の立体彫刻 を制作させる。 「鍛金」銅板で動物の変形絞り制作をさ せる。 「ある。 「毎点」ロストワックス技法によるスターリ	彫金・鍛金・鋳造・ガラス技法	【知識・技能】制作の為の資料収集と各素材の加工法を理解して、美しい作品を制作出来る。 【思考・判断・表現】 寸法通りに打出しやロウ付けが出来る。変形絞りができる。精密鋳造の技法を理解し丁寧な素材加工ができる。ガラスの特性を理解し丁寧に制作	0	0	0	16
1 学 期	ングシルバージュエリーを制作させる。 「ガラス」器の粘土原型と色ガラスを用 いたパート・ド・ヴェール作品を制作さ せる。		できる。 【主体的に学習に取り組む態度】貴重な金属材料での制作の意義と歴史的名品の造形美を踏まえ、粘り強く丁寧に制作することの大切さを理解する。	0	0	0	20
				0	0	0	20
	「彫金」金属板や線材で植物の立体彫刻を制作させる。 「鍛金」銅板で動物の変形絞り制作をさせる。 「鉄金」銅板で動物の変形絞り制作をさせる。 「鋳	彫金・鍛金・鋳造・ガラス技法	【知識・技能】制作の為の資料収集と各素材の加工法を理解して、美しい作品を制作出来る。 【思考・判断・表現】寸法面りに打出しやロウ付けが出来る。変形絞りができる。精密鋳造の技法を理解し丁寧な素材加工ができる。ガラスの特性を理解し丁寧に制作	0	0	0	20
2 学	ングシルバージュエリーを制作させる。 「ガラス」器の粘土原型と色ガラスを用 いたパート・ド・ヴェール作品を制作さ サス		できる。 【主体的に学習に取り組む態度】貴重な金属材料での制作の意義と歴史的名品の造形美を踏まえ、粘り強く丁寧に制作することの大切さを理解する。	0	0	0	20
期				0	0	0	16
	「彫金」金属板や線材で植物の立体彫刻 を制作させる。 「鍛金」銅板で動物の変形絞り制作をさ せる。 「 毎」ロストワックス技法によるスターリ	彫金・鍛金・鋳造・ガラス技法	【知識・技能】制作の為の資料収集と各素材の加工法を 理解して、美しい作品を制作出来る。 【思考・判断・表現】 寸法通りに打出しやロウ付けが出 来る。変形紋りができる。精密鏡造の技法を理解し丁寧 な素材加工ができる。ガラスの特性を理解し丁寧に制作	0	0	0	16
J	ングシルバージュエリーを制作させる。 「ガラス」器の粘土原型と色ガラスを用 いたパート・ド・ヴェール作品を制作さ せる。		できる。 【主体的に学習に取り組む態度】貴重な金属材料での制作の意義と歴史的名品の造形美を踏まえ、粘り強く丁寧に制作することの大切さを理解する。	0	0	0	20
学期				0	0	0	8 合計 156

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科 アートクラフト 科目 実習B

 教 科: アートクラフト
 科 目: 実習B
 単位数: 2
 単位数

対象学年組:第 2 学年 A 組~ 組

教科担当者: (A組:廣川) (A組:宇高) (A組:氏家)

使用教科書: (なし)

教科 アートクラフト の目標:

【知 識 及 び 技 能】彫金・鍛金・鋳造の金属工芸技法の基礎を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する 【思考力、判断力、表現力等】各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する 【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢とより自分らしい造形力を養い、世に有意義な作品制作や仕事ができる

科目 実習B の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	ジュエリーの石留めとゴム型制作の技法を理解する。絵画の色彩と構成を理解する。装飾的な構成を学び、丁寧な制作を行う。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	ワックスで原型を制作して、鋳造後仕上 げる。図形を転写し、絵の具で色彩を再 現させる。細密ペンを使用して、平面構 成を行う。	石留め・絵画模写・デザイン	【知識・技能】 石留めとゴム型を丁寧に制作できる。 【思考・判断・表現】 正確な図形転写と色彩を再現できる。 る。 【主体的に学習に取り組む態度】 文様の描き方を理解しイメージ通りの作品ができる。	0	0	0	8
1 学 期				0	0	0	9
				0	0	0	9
	ワックスで原型を制作して、鋳造後仕上 げる。図形を転写し、絵の具で色彩を再 現させる。細密ペンを使用して、平面構 成を行う。	石留め・絵画模写・デザイン	【知識・技能】 不留めとゴム型を丁寧に制作できる。 【思考・判断・表現】 正確な図形転写と色彩を再現できる。 る。 【主体的に学習に取り組む態度】 文様の描き方を理解しイメージ通りの作品ができる。	0	0	0	9
2				0	0	0	9
学期				0	0	0	9
	ワックスで原型を制作して、鋳造後仕上 げる。図形を転写し、絵の具で色彩を再 現させる。細密ペンを使用して、平面構 成を行う。	石留め・絵画模写・デザイン	【知識・技能】 石留めとゴム型を丁寧に制作できる。 【思考・判断・表現】 正確な図形転写と色彩を再現できる。 る。 【主体的に学習に取り組む態度】 文様の描き方を理解しイメージ通りの作品ができる。	0	0	0	8
3				0	0	0	9
学期				0	0	0	8 合計 78

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科 アートクラフト 科目 工業情報数理

教 科: アートクラフト 科 目: 工業情報数理 単位数: 2 単位 2

対象学年組:第 2 学年 A 組~ 組

教科担当者: (A組: 垣内) (A組: 三宅) (組:) (組:) (組:) (組:)

使用教科書: (工業情報数理 実教出版)

教科 アートクラフト の目標:

【 知 識 及 び 技 能 】彫金・鍛金・鋳造の金属工芸技法の基礎を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する 【思考力、判断力、表現力等】各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する 【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢とより自分らしい造形力を養い、世に有意義な作品制作や仕事ができる

科目 工業情報数理

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
		課題や作業を通して、ネット素材を価値あるもの として扱う姿勢をとり、より自分らしい発想力を
	学んだ知識を基にして、応用できる力を身につ	養うことによって、主体的で個性的かつ効果的な 学びを得ることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	礎を理解し、使用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 表現ソフトウェアの適正を考え、表現の試行錯誤をし、応用出来る力を身につけ実践する。 【学びに向かう力、人間性等】 ネット素材について、著作権を理解し、有意義で個性ある作品制作ができる。	の重要性、個人データの扱いと著作権について。	技能を学ぶ。 【思考・判断・表現】 展習を通して試行錯誤をし、判断したことを表現する力につなげることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の機会を通じて、個性ある作品制作ができる。より効果的かつ多面的に自己の特徴を発見し、自主的な学びをおこなうことができる。	0	0	0	26
	定期考査なし	定期考査なし	定期考査なし				0
2 学 其	A 単元 甲作成 【知識及び技能】 田作成における基礎的な知識を理解し、実践することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 プログラムの適正を考え、表現の試行錯誤をし、応用出来る力を身につけ錯誤をし、応用となる。 【学びに向かう力、人間性等】 ネット素材について、著作権を理解し、有意義で個性ある作品制作ができる。		【知識・技能】 各授業課題を使い、基礎的知識と基本となる 技能を学ぶ。 【思考・判断・表現】 演習を通して試行錯誤をし、判断したことを 表現する力につなげることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題を通じて、個性ある作品制作ができる。 より効果的かつ多面的に自己の特徴を発見 し、自主的な学びをおこなうことができる。	0	0	0	26
	定期考査なし	定期考査なし	定期考査なし				0
3 学 其	【知識及び技能】 プレゼンテーション用ソフトウェ アの特色と使い方の応用を理解し、 使用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 より効果的なプレゼンテーションを	の重要性、個人データの扱いと著	【知識・技能】 各授業課題を使い、基礎的知識と応用となる 技能を学ぶ。 【思考・判断・表現】 演習を通して試行錯誤をし、判断したことを 表現する力につなげることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題や発表の機会を通じて、個性ある作品制 作ができる。より効果的かつ多面的に自己の 特徴を発見し、自主的な発表をおこなうこと ができる。				26
	定期考査なし	定期考査なし	定期考査なし				合計 78

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科 アートクラフト 科目 ACⅡ

教 科: アートクラフト 科 目: ACII 単位数: 1 単位

対象学年組:第 2 学年 A 組~ 組

教科担当者: (A 組: 中村)

使用教科書: (なし

教科 アートクラフト の目標:

【知 識 及 び 技 能】彫金・鍛金・鋳造の金属工芸技法の基礎を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する 【思考力、判断力、表現力等】各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する 【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢とより自分らしい造形力を養い、世に有意義な作品制作や仕事ができる

)

科目 ACII の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	空間構成において美的な表現力を獲得する。象 徴の図像化の様式美を理解する	美的象徴を利用した作品制作をする

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 🛎	美的象徴について	美的象徴の具体例を理解する。動 植物について	【知識・技能】各種象徴の意味と特色を理解できたか 【思考・判断・表現】象徴の図像化の様式美	0	0	0	4
	美的象徴について	事物、ヴァニタスについて	を理解できたか 【主体的に学習に取り組む態度】象徴を利用	0	0	0	5
学期	美的象徴について	西洋と東洋の比較	した作品制作が出来たか	0	0	0	4
	美的象徴について	西洋と東洋の比較		0	0	0	4
2	色彩学の応用	「デザインの色彩」を用いて色彩 を理論的に理解する。補色・色相 環の対比を理解する。	【知識・技能】 I 学年で学んだ色彩の基礎理論を発展させる。 【思考・判断・表現】空間構成において美的	0	0	0	6
学期	幾何形体の平面構成	黄金矩形、正方形画面の平面構成。	な表現力を獲得する。 【主体的に学習に取り組む態度】構成を利用した制作ができたか	0	0	0	6
	花言葉と図像について	絵画を鑑賞して図像を理解する	【知識・技能】花言葉と図像を理解できたか 【思考・判断・表現】身の回りの象徴を意識 することが出来たか	0	0	0	5
3 学 期			【主体的に学習に取り組む態度】象徴を利用した作品制作が出来たか	0	0	0	5 合計
							39

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科 アートクラフト 科目 AD I

教 科: アートクラフト 科 目: AD I 単位数: 2 単位 2

対象学年組:第 2 学年 A 組~ 組

教科担当者: (A組:三宅) (組:) (組:) (組:) (組:)

使用教科書: (なし

教科 アートクラフト の目標:

【知 識 及 び 技 能】彫金・鍛金・鋳造の金属工芸技法の基礎を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する 【思考力、判断力、表現力等】各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する 【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢とより自分らしい造形力を養い、世に有意義な作品制作や仕事ができる

科目 ADI の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	ユニバーサルデザインについて考え、効果的な 狙いを表現することができる。	全ての人に使いやすい商品や、環境を考えて デザインをすることにより、発想力を養い、
		有意義で個性ある作品制作ができる。制作において自身が考えた狙いを効果的に発表できるよ
		うにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
	A 単元 一点透視図法 【知識及び技能】 一点透視図の表示法を学び、課題を作成することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 透視図法を理解し、図面上で正しく描き起こして表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 提出期限内に計画的に課題制作を行う ことができる。	・指導事項 一点透視図の表示法を学び、課題 を作成する。 ・教材 プリント	【知識・技能】 一点透視図の表示法を学び、課題を作成することができるか。 【思考・判断・表現】 透視図を理解し、図面上で正しく描き起こして表現することができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 透視図を利用した課題制作が提出期限内に出来たか。	0	0	0	4
	B 単元 二点透視図 【知識及び技能】 二点透視図の表示法を学び、課題を作成することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 透視図法を理解し、図面上で正しく描き起こして表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 提出期限内に計画的に課題制作を行うことができる。	・指導事項 二点透視図の表示法を学び、課題 を作成する。 ・教材 プリント	【知識・技能】 二点透視図の表示法を学び、課題を作成する ことができるか。 【思考・判断・表現】 透視図法を理解し、図面上で正しく描き起こ して表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 透視図を利用した課題制作が提出期限内に出来たか。	0	0	0	6
1	定期考査なし	定期考査なし	定期考査なし				0
学期	に 単元 円の透視図法 【知識及び技能】 円の透視図の表示法を学び、課題を作成することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 透視図法を理解し、図面上で正しく描き起こして表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 提出期限内に計画的に課題制作を行う ことができる。	・教材プリント	【知識・技能】 円の透視図の表示法を学び、課題を作成することができる。 【思考・判断・表現】 透視図とを理解し、図面上で正しく描き起こして表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 透視図を利用した課題制作が提出期限内に出来たか。	0	0	0	4
	D 単元 複雑な立体物な透視図法 【知識及び技能】 複雑な立体物の表示法を学び、課題を 作成することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 透視図法を理解し、図面上で正しく描 き起こして表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 提出期限内に計画的に課題制作を行う ことができる。	・指導事項 複雑な立体物の表示法を学び、課題を作成する。・教材 プリント	【知識・技能】 複雑な立体物の表示法を学び、課題を作成することができるか。 【思考・決を理解し、図面上で正しく描き起こして表現することができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 透視図を利用した課題制作が提出期限内に出来たか。	0	0	0	12
	定期考査なし	定期考査なし	定期考査なし				0
	A 単元 トロフィーデザイン 【知識及び技能】 トロフィーのデザインを考え、複雑な立体物を製図することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 各自で狙いを持ったトロフィーデザインを考え、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 表彰されるということについて深く考え、自己の個性を発見することができる。 また、提出期限内に計画的に課題制作を行うことができる。	・指導事項 トロフィーのデザインを考え、複雑な立体物の透視図法を学び、課題を作成する。	【知識・技能】 トロフィーのデザインを考え、複雑な立体物 を製図することができるか。 【思考・判断・表現】 各自で狙いを持ったトロフィーデザインを考 え、表現することができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 表彰されるということについて深く考え、自 己の個性を発見することできるか。また、提 出期内に計画的に課題制作を行うことがで きるか。	0	0	0	10
2 学期	A 単元 トロフィーデザインプレゼン 【知識及び技能】 自作した製品をプレゼンする方法を理解し、課題を作成することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 各自の考えたトロフィーデザインを透視図法及びレンダリングで表現できる。 でザインの狙いを生かした、効果的なプレゼン表現をすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 提出期限内に計画的に課題制作を行うことができる。 B 単元 ハイライトドローイング	・指導事項 自作した製品をプレゼンする方法 を理解し、課題を作成する。 ・指導事項	【知識・技能】 自作した製品をプレゼンする方法を理解し、 課題を作成することができる。 【思考・判断・表現】 各自の考えたトロフィーデザインを透視図法 及びレンダリングで表現できるか。 デザインの狙いを生かした、効果的なプレゼ ン表現をすることができるか。 となれるということについて深く考え、自己の個性を発見することできるか。また、提 は別限内に計画的に課題制作を行うことができるが。 【知識・技能】	0	0	0	10

	ルドローイングを理解し、課題を	ハイライトドローイング、ペンシルドローイングを理解し、課題を作成することができるか。 【思考・判断・表現】 ハイライトドローイング、ペンシルドローイングを理解し、課題を作成することができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 提出期限内に計画的に課題制作を行うことができるか。	0	0	0	6
定期考査なし	定期考査なし	定期考査なし				0
A 単元 テーブカットデザイン 【知識及び技能】 テーブカッターのデザインを考え、複 雑な立体物を製図することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ユニバーサルデザインについて考え、	え、複雑な立体物の透視図法を学	A 単元 テーブカットデザイン 【知識・技能】 テーブカッターのデザインを考え、複雑な立 体物を製図することができる。 【思考・判断・表現】 ユニバーサルデザインについて考え、効果的				

3 学	効果的な狙いを表現することができる。 各自のテープカッターのデザインを考え、表現することができる。 各自を担いを持ったトロフィーデザインを考え、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ユニバーサルデザインについても考え、多くの人の視点から考えることで、豊かな人間性を表うことができる。 で、豊かな人間性を表うことができる。また、提出期間のとス		な狙いを表現することができる。 各自のテープカッターのデザインを考え、表現することができる。 各自で狙いを持ったトロフィーデザインを考え、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ユニバーサルデザインについても考え、多く の人の視点から考えることで、豊かな人間性 を養うことができる。また、提出期限内に計 画的に課題制作を行うことができる。	0	0	0	12
	関性もだるとしばできなります。 関単元 デープカッターデザインプレビン 【知識及び技能】 自作した製品をプレゼンする方法を理 解した課題を作成することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ユニバーサルデザインについができる。 る。 各自の考えたテープカッター等の製品で表現できる。 各自がインえを図面及びレンダリングできる。 表現でできる。 【学びに向かう力、人間性等】 多くの人の視点から考えることができる。	・指導事項 自作した製品をプレゼンする方法 を理解し、課題を作成する。	B 単元 デープカッターデザインプレゼン 【知識・技能】 自作した製品をプレゼンする方法を理解し、 課題を作成することができる。 【思考・判断・表現】 ユニバーサルデザインについて考え、効果的 な狙いを表現することができる。 各自の考えたテープカッターで表現できる。 となる図面及びレンダリングで表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 多くの人の視点から考えることで、豊かな人間性を養うことができる。 間性を養うことができる。 間性を養うことができる。 間性のに計画的に課題制作を行うことができる。	0	0	0	14 合計 78

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科 アートクラフト 科目 デッサンI

 教 科: アートクラフト
 科 目: デッサンI
 単位数: 2 単位

 対象学年組:第 2 学年 A 組~
 組

 教科担当者: (A組: 大野 (組:) (組:

使用教科書: ()

教科 アートクラフト の目標:

【知識及び技能】彫金・鍛金・鋳造の金属工芸技法の基礎を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する 【思考力、判断力、表現力等】各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する 【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢とより自分らしい造形力を養い、世に有意義な作品制作や仕事ができる

科目 デッサン I の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
画材の扱いに慣れ、人体や物の構造を意識する	短時間でモチーフの印象を踏まえて立体表現が出来る	形に添った表現を丁寧に積み重ねて対象物を理 解する

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1 🛎	木炭デッサンの描き方を理解し対象物を立体表現する 石膏像(胸像)	木炭紙と木炭の芯抜きの基本 立体表現の為の稜線の描き方	【知識・技能】画材の扱いに慣れ、人体や物の構造を意識する 【思考・判断・表現】短時間でモチーフの印象を踏まえて立体表現が出来る 【主体的に学習に取り組む態度】形に添った表現を丁寧に積み重ねて対象物を理解する	0	0	0	12
学期	石膏像 (胸像)	立体表現の為の稜線の描き方		0	0	0	12
2 学		立体表現の為の稜線の描き方	【知識・技能】画材の扱いに慣れ、人体や物の構造を意識する 【思考・判断・表現】短時間でモチーフの印象を踏まえて立体表現が出来る 【主体的に学習に取り組む態度】形に添った表現を丁寧に積み重ねて対象物を理解する	0	0	0	14
期	ス(石膏全身像)	立体表現の為の稜線の描き方		0	0	0	16
3 学			【知識・技能】画材の扱いに慣れ、人体や物の構造を意識する 【思考・判断・表現】短時間でモチーフの印象を踏まえて立体表現が出来る 【主体的に学習に取り組む態度】形に添った表現を丁寧に積み重ねて対象物を理解する	0	0	0	12
期	ベルヴェデーレ、ミロのヴィーナ ス(石膏全身像)	立体表現の為の稜線の描き方		0	0	0	12 合計 78

 高等学校 令和6年度 (2 学年用)
 教科: アートクラフト
 科目
 造形

 数 科: アートクラフト
 科目:
 造形
 単位数:
 2 単位 2

 対象学年組:第 2 学年 A 組~
 組

 教科担当者: (A組: 三宅) (組:) (組:) (組:) (組:)
) (組:) (組:) (組:)
 使用教科書: (

教科 アートクラフト の目標:

【知識及び技能】彫金・鍛金・鋳造の金属工芸技法の基礎を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する 【思考力、判断力、表現力等】各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する

【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢とより自分らしい造形力を養い、世に有意義な作品制作や仕事ができる

# L L M & D & T L & D & L & D & D & D & D & D & D & D &	
粘土や紙などの素材の扱いに慣れると共に、美術史に モチーフの印象を理解し、立体表現をするにあ 対象物を表現するために何が必 裏付けされた人体や物の構造を意識しながら、造形す たっての方法を選択し、表現することができ 寧に工程を積み重ねることがで	
ることができる。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1 学	A フランソワポンから学ぶ造形【張り子】「知識及び技能】 心棒や粘土、紙などの素材の扱いに慣れると共に、美術史に裏付けされた動物の構造を意識しながら、造形することができる。 【思考力、判断力、表現力等】モチーフの印象を理解し、立体表現をするにあたっての方法を選択し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間任何を】要かを表現するためにもかと数でを表現するためにないできる。 【学びに向かうるためにないできる。 【学びに向かう人、間一何等】要かを表現するためにないできる。 【学びに向かるためにないできる。 【学びに向からなためにないできる。 【学びに向からないできる。 【学びに向からないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	造形に関しての美術史。 しっかりとした心棒のつくりかた について。 油粘土のとり扱いについて	【知識・技能】 心棒や粘土、紙などの素材の扱いに慣れると 井に、美術史に裏付けされた動物の構造を意 識しながら、造形することができるか。 【思考・判断・表現】 モチーフの印象を理解し、立体表現をするに あたっての方法を選択し、表現することがで きるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 対象物を表現するために何が必要かを考え、 丁寧に工程を積み重ねることができるか。 計画的に課題制作を行うことができるか。	0	0	0	20
793	B 塑像[種子の土鈴] 【知識及び技能】 粘土の素材の扱いや特性に慣れると共に、美術史に裏付けされた植物の構造を意識しながら、造形することができる。 【思考力、判断力、表解し、立体表現をするにあたっての方法を選択し、立体表現するにあたっての方法を選択し、立体表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 対象物を表現するために何が必要かを考え、丁寧に工程を積み重ねることができる。 計画的に課題制作を行うことができる。計画的に課題制作を行うことができる。	造形に関しての美術史。 焼成粘土のとり扱いについて	【知識・技能】 粘土の素材の扱いや特性に慣れると共に、美術史に裏付けされた植物の構造を意識しながら、造形することができたるか。 【思考・判断・表現】 モチーフの印象を理解し、立体表現をするにあたっての方法を選択し、表現することができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 対象物を表現するために何が必要かを考え、丁寧に工程を積み重ねることができるか。計画的に課題制作を行うことができるか。	0	0	0	6
	A 塑像[仏様の手] 【知識及び技能】 粘土の素材の扱いや特性に慣れると共に、美術史に裏付けされた人体の構造を に、美術史に裏付けされた人体の構造を 意識しながら、造形することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 モチーフの印象を理解し、立体表現をするにあたっての方法を選択、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 対象物を表現するために何が必要かを考え、丁寧に工程を積み重ねることができる。	造形に関しての日本における美術 史。 焼成粘土のとり扱いについて	【知識・技能】 粘土の素材の扱いや特性に慣れると共に、美術史に裏付けされた人体の構造を意識しながら、造形することができるか。 【思考・判断・表現】 モチーフの印象を理解し、立体表現をするにあたっての方法を選択、表現むることができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 対象物を表現するために何が必要かを考え、丁寧に工程を積み重ねることができるか。計画的に課題制作を行うことができるか。計	0	0	0	18
	B クリストから学ぶ造形の側面 【知識及び技能】 美術作品について学ぶと共に、現代アートの造形の歴史を学ぶ。 「思考力、判断力、表現力等】 モチーフの象徴性を理解し、立体表現をするにあたっての方法を選択し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 対象物を表現するために何が必要かを考え、造形の持つ意味性を考えることができる。 。計画的に課題制作を行うことができる。。計画的に課題制作を行うことができる。	現代アートに関しての造形史。	【知識・技能】 美術作品について学ぶと共に、現代アートの 造形の歴史を学ぶことができたか。 【思考・判断・表現】 モチーフの象徴性を理解し、立体表現をする にあたっての方法を選択し、表現することが できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 対象物を表現するために何が必要かを考え、 造形の持つ意味性を考えることができるか。 計画的に課題制作を行うことができるか。	0	0	0	8
3	A カメオ【額】 【知識及び技能】 素材の扱いに慣れると共に、象徴に裏付けされた装飾彫刻を造形することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 モチーフの印象を理解し、立体表現をするにあたっての方法を選択し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 対象物を表現するために何が必要かを考え、丁寧に工程を積み重ねることができる。 る。計画的に課題制作を行うことができる。	象徴彫刻に関しての美術史。 ピューターのとり扱いについて	【知識・技能】 素材の扱いに慣れると共に、象徴に裏付けされた装飾彫刻を造形することができるか。 【思考・判断・表現】 モチーフの印象を理解し、立体表現をするにあたっての方法を選択し、表現することができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 対象物を表現するために何が必要かを考え、丁寧に工程を積み重ねることができるか。計画的に課題制作を行うことができるか。	0	0	0	12
学期	B カ (自刻像) 【知識及び技能】 【知識及び技能】	象徴彫刻に関しての美術史。 油粘土と型取り、石膏のとり扱い について	【知識・技能】 粘土の素材の扱いや特性に慣れると共に、美術史に裏付けされた人体の構造を意識しながら、造形することができるか。 【思考・判断・表現】 モチーフの印象理解し、立体表現をするにあたっての方法を選択し、表現することができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 対象物を表現するために何が必要かを考え、丁寧に工程を積み重ねることができるか。計画的に課題制作を行うことができるか。	0	0	0	14 合計 78

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 アートクラフト 科目 鍛金

教 科: アートクラフト 科 目: 鍛金 単位数: 2 単位

対象学年組:第 3 学年 A 組~ 組

教科担当者: (A 組: 垣内)

使用教科書: (なし)

教科 アートクラフト の目標:

【知 識 及 び 技 能】金属工芸技法を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する

【思考力、判断力、表現力等】各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する

【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢と個性的な造形力を養い、世に有意義な制作や活動ができる能力を身につける

科目 鍛金 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
		粘り強く丁寧に制作することの大切さを理解する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
	本体の地金取り・焼きなまし・酸洗い・絞り・均しの指導をする。	銅製片手鍋の製作	【知識・技能】単純な形の成形をイメージと おりにできたか 【思考・判断・表現】材料と加工方法の適正 を考え試行錯誤し、個性的な制作ができたか	0	0	0	8
1	焼きなまし・酸洗い・絞り・均しの 指導をする。	銅製片手鍋の製作	【主体的に学習に取り組む態度】効率の良い制作手順を意識して、計画的に粘り強く丁寧に制作することができたか	0	0	0	10
学期	焼きなまし・酸洗い・絞り・均しの 指導をする。	鍛金 銅製片手鍋の製作		0	0	0	10
	取手の焼きなまし・酸洗い・絞り・ 均しの指導をする。	鍛金 銅製片手鍋の製作		0	0	0	8
2	本体の地金取り・焼きなまし・酸洗い・絞り・均しの指導をする。	銅製片手鍋の製作	【知識・技能】単純な形の成形をイメージと おりにできたか 【思考・判断・表現】材料と加工方法の適正 を考え試行錯誤し、個性的な制作ができたか	0	0	0	12
字 期	焼きなまし・酸洗い・絞り・均しの 指導をする。	鍛金 銅製片手鍋の製作	【主体的に学習に取り組む態度】効率の良い 制作手順を意識して、計画的に粘り強く丁寧 に制作することができたか	0	0	0	12
	焼きなまし・酸洗い・絞り・均しの 指導をする。	銅製片手鍋の製作	【知識・技能】単純な形の成形をイメージと おりにできたか 【思考・判断・表現】材料と加工方法の適正 を考え試行錯誤し、個性的な制作ができたか	0	0	0	10
3 学 期	取手の焼きなまし・酸洗い・絞り・ 均しの指導をする。	鍛金 銅製片手鍋の製作	【主体的に学習に取り組む態度】効率の良い制作手順を意識して、計画的に粘り強く丁寧に制作することができたか	0	0	0	8 合計
							78

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 アートクラフト 科目 AC研究

教 科: アートクラフト 科 目: AC研究 単位数: 2 単位

対象学年組:第 3 学年 A 組~ 組

教科担当者: (A 組: 中根)

使用教科書: (なし)

教科 アートクラフト の目標:

【知 識 及 び 技 能】金属工芸技法を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する

【思考力、判断力、表現力等】各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する

【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢と個性的な造形力を養い、世に有意義な制作や活動ができる能力を身につける

科目 AC研究 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基本的なとんぼ玉の制作技法を習得する。		粘り強く丁寧に制作することの大切さを理解 する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1 学期	理型材、ガラス融解用具の扱い方を 学ぶ	トンポ玉	【知識・技能】基本的なとんぼ玉の制作技法 を習得できたか 【思考・判断・表現】材料と加工方法の適正 を考え試行錯誤し、個性的な制作ができたか	0	0	0	8
	基本的な玉の作り方を学ぶ	トンボ玉	【主体的に学習に取り組む態度】効率の良い制作手順を意識して、計画的に粘り強く丁寧に制作することができたか	0	0	0	10
	基本的な玉の作り方を学ぶ	トンボ玉		0	0	0	10
	基本的な玉の作り方を学ぶ	トンボ玉		0	0	0	8
2	レース玉を作るなど技法の展開を図 る	トンボ玉	【知識・技能】基本的なとんぼ玉の制作技法を習得できたか 【思考・判断・表現】材料と加工方法の適正を考え試行錯誤し、個性的な制作ができたか 【主体的に学習に取り組む態度】効率の良い制作手順を意識して、計画的に粘り強く丁寧に制作することができたか	0	0	0	12
学期	レース玉を作るなど技法の展開を図 る	トンボ玉		0	0	0	12
	動物などパーツが多く難易度の高い 技法を習得する		【知識・技能】基本的なとんぽ玉の制作技法 を習得できたか 【思考・判断・表現】材料と加工方法の適正 を考え試行錯誤し、個性的な制作ができたか	0	0	0	10
3 学 期	動物などパーツが多く難易度の高い 技法を習得する	トンボ玉	【主体的に学習に取り組む態度】効率の良い制作手順を意識して、計画的に粘り強く丁寧に制作することができたか	0	0	0	8 合計
							78

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 アートクラフト 科目 光造形

教 科: アートクラフト 科 目: 光造形 単位数: 2 単位 2

対象学年組:第 3 学年 A 組~ 組

教科担当者: (A組: 垣内) (A組:) (組:) (組:) (組:)

使用教科書: (

教科 アートクラフト の目標:

【 知 識 及 び 技 能 】金属工芸技法を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する

【思考力、判断力、表現力等】各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する

【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢と個性的な造形力を養い、世に有意義な制作や活動ができる能力を身につける

科目 光造形 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
CGソフト、造形機の使い方や取り扱いを学習する。		学んだ技法で作品制作をする。 CADの特性を生かした造型感覚を習得する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	ソフトの操作方法を習得させる。デザイン画製作。CADの特性を理解させる。3Dデザインソフトの使い方CADの特性を生かしたジュエリーを制作させる。	CGソフトの使い方	【知識及び技能】 C G ソフト、造形機の使い 方や取り扱いが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】 個性的ななジュエリーのデザインが出来る。 デザイン、造形、加工と実際の作業工程を学 び、知識を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 学んだ技法で作品制作ができる。 C A D の特 性を生かした造型感覚を習得する。	0	0	0	26
2 学期	!	表面処理について	【知識及び技能】 C G ソフト、造形機の使い 方や取り扱いが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】 個性的ななジュエリーのデザインが出来る。 デザイン、造形、加工と実際の作業工程を学 び、知識を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 学んだ技法で作品制作ができる。 C A D の特 性を生かした造型感覚を習得する。	0	0	0	26
3 学期	!	研磨、仕上げ加工を行う。	【知識及び技能】CGソフト、造形機の使い方や取り扱いが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】 個性的ななジュエリーのデザインが出来る。 デザイン、造形、加工と実際の作業工程を学び、知識を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 学んだ技法で作品制作ができる。CADの特性を生かした造型感覚を習得する。				26
							78

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 アートクラフト 科目 AcⅡ

教 科: アートクラフト 科 目: AcⅡ 単位数: 2 単位

対象学年組:第 3 学年 A 組~ 組

教科担当者: (A 組: 三宅) (A 組: 垣内)

使用教科書: (なし)

教科 アートクラフト の目標:

【 知 識 及 び 技 能 】金属工芸技法を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する

【思考力、判断力、表現力等】各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する

【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢と個性的な造形力を養い、世に有意義な制作や活動ができる能力を身につける

科目 Ac II の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
宝石の基礎知識を学ぶ	個性的な意匠を試行錯誤出来る力を身につける る	粘り強く丁寧に制作することの大切さを理解する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	彩色表現	宝石の基礎知識	【知識・技能】宝石の特色を理解できたか 【思考・判断・表現】表現方法を模索し、丁 寧な制作ができたか 【主体的に学習に取り組む態度】グループ作	0	0	0	8
1 学期	ダイヤモンドの基礎知識	宝石の基礎知識	業で個々の考えを構築できたか	0	0	0	10
	パール・ベリルの基礎知識	宝石の基礎知識		0	0	0	10
	フェルドスパーの基礎知識	宝石の基礎知識		0	0	0	8
	展開図を応用したパッケージ 宝石の基礎知識について調べる	宝石調ベ学習	【知識・技能】宝石の特色を理解できたか 【思考・判断・表現】表現方法を模索し、丁 寧な制作ができたか 【主体的に学習に取り組む態度】グループ作 業で個々の考えを構築できたか	0	0	0	12
学期	平面から立体を想像し展開図へ 調べた内容を模造紙にまとめ、プレ ゼン	宝石調ベ学習		0	0	0	12
	展開図の製図・組み立て・着色 アンティークジュエリーについて調 べる	アンティークジュエリー調べ学習	【知識・技能】宝石の特色を理解できたか 【思考・判断・表現】表現方法を模索し、丁 寧な制作ができたか 【主体的に学習に取り組む態度】グループ作 業で個々の考えを構築できたか	0	0	0	10
3 学期	展開図の製図・組み立て・着色。 作品の意味合いを探求する 調べた内容を模造紙にまとめ、プレ ゼン	アンティークジュエリー調べ学習		0	0	0	8 合計 78

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 アートクラフト 科目 プレゼン

教 科: アートクラフト 科 目: プレゼン 単位数: 2 単位 2

対象学年組:第 3 学年 A 組~ 組

教科担当者: (A組: 喜多崎) (A組:) (組:) (組:) (組:)

使用教科書: (

教科 アートクラフト の目標:

【 知 識 及 び 技 能 】金属工芸技法を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する

【思考力、判断力、表現力等】各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する

【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢と個性的な造形力を養い、世に有意義な制作や活動ができる能力を身につける

科目 プレゼン の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
理解し、使用することができる。	ができる。	課題や作業を通して、より自分らしい発想力を養うことによって、主体的で個性的かつ効果的な学びを得ることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	ポートフォリオを制作する コンセプト、ページ校正を考えさせる 作品の写真撮影、ライティング 編集・校正	映像機器の使い方と注意事項 作品の写真撮影、ライティング 編集・校正	【知識及び技能】 カメラ、編集ソフトの特色と使い方の基礎 を理解し、使用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 進路先に適した内容での表現の試行錯誤を し、応用出来る力を身につけ実践する。 【学びに向かう力、人間性等】 素材について、著作権を理解し、有意義で個 性ある作品制作ができる。	0	0	0	26
2 学期	!		【知識及び技能】 カメラ、編集ソフトの特色と使い方の基礎 を理解し、使用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 分かり易い内容での表現の試行錯誤をし、応 用出来る力を身につけ実践する。 【学びに向かう力、人間性等】 素材について、著作権を理解し、有意義で個 性ある作品制作ができる。	0	0	0	26
3 学期	!		【知識及び技能】 カメラ、編集ソフトの特色と使い方の基礎 を理解し、使用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 分かり易い内容での表現の試行錯誤をし、応 用出来る力を身につけ実践する。 【学びに向かう力、人間性等】 素材について、著作権を理解し、有意義で個 性ある作品制作ができる。				26
							78

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 アートクラフト 科目 AD

教 科: アートクラフト 科 目: AD 単位数: 2 単位

対象学年組:第 3 学年 A 組~ 組

教科担当者: (A 組: 三宅)

使用教科書: (なし)

教科 アートクラフト の目標:

【 知 識 及 び 技 能 】金属工芸技法を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する

【思考力、判断力、表現力等】各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する

【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢と個性的な造形力を養い、世に有意義な制作や活動ができる能力を身につける

科目 AD の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
金属加工に適した構成や色彩の基礎理論を理解し、図案を制作出来る	各種材料と加工方法の適正を考え、個性的な 意匠を試行錯誤出来る力を身につける	粘り強く丁寧に制作することの大切さを理解 する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	唐草文様の意匠を作成させる	唐草文様の構成演習(図案・蓋制 作)	【知識・技能】文様の装飾性を理解できたか 【思考・判断・表現】個性的な文様作成がで きたか	0	0	0	8
	唐草文様の意匠を作成させる	唐草文様の構成演習(図案・蓋制作)	【主体的に学習に取り組む態度】主題に即した図案のために何が必要かを考え、丁寧にエ	0	0	0	10
	唐草文様の意匠を作成させる	唐草文様の構成演習(図案・蓋制作)	程を積み重ねることができる。計画的に課題 制作を行うことができる。	0	0	0	10
	唐草文様の意匠を作成させる	唐草文様の構成演習(図案・蓋制 作)		0	0	0	8
2	コインデザインの意匠を作成させる	コインデザインの図案制作	【知識・技能】文様の装飾性を理解できたか 【思考・判断・表現】個性的な制作ができた か 【主体的に学習に取り組む態度】主題に即し	0	0	0	12
学期	コインデザインの意匠を作成させる	コインデザインの図案制作	た図案のために何が必要かを考え、丁寧に工程を積み重ねることができる。計画的に課題制作を行うことができる。	0	0	0	12
	色彩についての理解を深め、質感表 現と平面上での立体表現を学ばせ る。		【知識・技能】文様の装飾性を理解できたか 【思考・判断・表現】個性的な制作ができた か 【主体的に学習に取り組む態度】主題に即し	0	0	0	10
学	色彩についての理解を深め、質感表現と平面上での立体表現を学ばせる。	立体構成	た図案のために何が必要かを考え、丁寧に工程を積み重ねることができる。計画的に課題制作を行うことができる。		0	0	8 合計 78

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 アートクラフト 科目 課題研究

教 科: アートクラフト 科 目: 課題研究 単位数: 5 単位

対象学年組:第 3 学年 A 組~ 組

教科担当者: (A組:廣川) (A組: 宇高) (A組: 神山) (A 組: 氏家)

使用教科書: (なし)

教科 アートクラフト の目標:

【 知 識 及 び 技 能 】金属工芸技法を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する

【思考力、判断力、表現力等】各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する

【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢と個性的な造形力を養い、世に有意義な制作や活動ができる能力を身につける

科目 課題研究 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	性を生かした加工が出来る。七宝技法を理解	貴重な素材での制作の意義と歴史的名品の造形美を踏まえ、粘り強く丁寧に制作することの大切さを理解する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	「鋳造」鋳造に適した美しい造形を制作する 「彫金」無理のない彫金技法で制作する 「鍛金」効率の良い絞り加工や溶接で制 作する	「鋳造」蝋型鋳造原型、仕上げ 「彫金」打出し、ロウ付け立体構成 「鍛金」銅板絞り加工、溶接作品制作 「ジュエリー」精密鋳造原型、仕上げ加 T.	【知識・技能】制作の為の資料収集と各素材の加工法を 理解して、美しい作品を制作出来たか。 【思考・判断・表現】各素材の特性を生かした加工が出 来たか。 【主体的に学習に取り組む態度】無駄のない材料の活用	0	0	0	24
1 学 期	「ジュエリー」細密で丁寧に制作する		を考え粘り強く丁寧に制作することが出来たか。	0	0	0	24
				0	0	0	24
	「鋳造」鋳造に適した美しい造形を制作する 「彫金」無理のない彫金技法で制作する 「鍛金」効率の良い絞り加工や溶接で制 作する	「鋳造」蝋型鋳造原型、仕上げ 「彫金」打出し、ロウ付け立体構成 「鍛金」銅板絞り加工、溶接作品制作 「ジュエリー」精密鋳造原型、仕上げ加 T.	【知識・技能】制作の為の資料収集と各素材の加工法を 理解して、美しい作品を制作出来たか。 【思考・判断・表現】各素材の特性を生かした加工が出 来たか。 【主体的に学習に取り組む態度】無駄のない材料の活用	0	0	0	24
2 学	「ジュエリー」細密で丁寧に制作する		を考え粘り強く丁寧に制作することが出来たか。	0	0	0	24
期				0	0	0	24
	「鋳造」鋳造に適した美しい造形を制作する 「彫金」無理のない彫金技法で制作する 「鍛金」効率の良い絞り加工や溶接で制作する	「鋳造」蝋型鋳造原型、仕上げ 「彫金」打出し、ロウ付け立体構成 「鍛金」銅板絞り加工、溶接作品制作 「ジュエリー」精密鋳造原型、仕上げ加 エ	【知識・技能】制作の為の資料収集と各素材の加工法を 理解して、美しい作品を制作出来たか。 【思考・判断・表現】各素材の特性を生かした加工が出 来たか。 【主体的に学習に取り組む態度】無駄のない材料の活用	0	0	0	24
3	「ジュエリー」細密で丁寧に制作する		を考え粘り強く丁寧に制作することが出来たか。	0	0	0	24
学期				0	0	0	3 合計 195

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 アートクラフト 科目 実習A

教 科: アートクラフト 科 目: 実習A 単位数: 5 単位

対象学年組:第 3 学年 A 組~ 組

教科担当者: (A組: 大野) (A組: 垣内) (A組: 吉田) (A 組: 三宅)

使用教科書: (なし)

教科 アートクラフト の目標:

【 知 識 及 び 技 能 】金属工芸技法を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する

【思考力、判断力、表現力等】各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する

【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢と個性的な造形力を養い、世に有意義な制作や活動ができる能力を身につける

科目 実習A の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かうカ、人間性等】
制作の為の資料収集と各素材の加工法を理解して、美しい作品を制作出来る。		貴重な素材での制作の意義と歴史的名品の造 形美を踏まえ、粘り強く丁寧に制作すること の大切さを理解する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 #	サンカを身につける。 「鍛鉄」鉄の素材を生かした加工法を身につける。 「七宝」有線七宝を基本技術の修得が成され、鑑賞に耐える高度な作品制作をする。 「カッター製作	「鍛鉄」椅子、机、窓装飾等の実用品の制作 宝」有線七宝装飾板の制作	の 理解して、美しい作品を制作出来たか。 【思考・判断・表現】モチーフらしい形体感を表現出来 たか。鉄の特性を生かした加工が出来たか。七宝技法を	0	0	0	24
		来たか。 【主体的に学習に取り組む態度】無駄のない材料の活用 を考え粘り強く丁寧に制作することが出来たか。	0	0	0	24	
				0	0	0	24
	「デッサン」芸大、美大合格水準のデッサン力を身につける。 「鍛鉄」鉄の素材を生かした加工法を身 につける 「七宝」有線七宝の基本技術の修得が成	宝」有線七宝装飾板の制作	【知識・技能】制作の為の資料収集と各素材の加工法を理解して、美しい作品を制作出来たか。 【思考・判断・表現】モナーフらしい形体感を表現出来たか。鉄の特性を生かした加工が出来たか。七宝技法を理解し丁寧な加工が出来たか。図面を基に丁寧に制作出	0	0	0	24
		カッター製作		0	0	0	24
				0	0	0	24
	「デッサン」芸大、美大合格水準のデッサン力を身につける。 「鍛鉄」鉄の素材を生かした加工法を身 につける 「七宝」有線七宝の基本技術の修得が成	デッサン」石膏・静物鉛筆デッサン ਿ鍛鉄」椅子、机、窓装飾等の実用品の 制作 「七 宝」有線七宝装飾板の制作 「テープカッター」2年次設計のテープ	【思考・判断・表現】モチーフらしい形体感を表現出来 たか。鉄の特性を生かした加工が出来たか。七宝技法を 理解し丁寧な加工が出来たか。図面を基に丁寧に制作出	0	0	0	24
3 切り	され、鑑賞に耐える高度な作品制作をする。 「テープカッター」デザインに応じた適 切な方法で完成させる。		来たか。 【主体的に学習に取り組む態度】無駄のない材料の活用 を考え粘り強く丁寧に制作することが出来たか。	0	0	0	24
学期				0	0	0	3 合計 195

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 アートクラフト 科目 映像

教 科: アートクラフト 科 目: 映像 単位数: 2 単位 2

対象学年組:第 3 学年 A 組~ 組

教科担当者: (A組:廣川) (A組:) (組:) (組:) (組:)

使用教科書: (

教科 アートクラフト の目標:

【 知 識 及 び 技 能 】金属工芸技法を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する

【思考力、判断力、表現力等】各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する

【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢と個性的な造形力を養い、世に有意義な制作や活動ができる能力を身につける

科目 映像 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
の基礎を理解し、使用することができる。		課題や作業を通して、より自分らしい発想力を養うことによって、主体的で個性的かつ効果的な学びを得ることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	映像機器の使用方法を理解する 【知識及び技能】 カメラ、編集ソフトの特色を理解 し、使用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 各種ソフトウェアの適正を考え、表現の試行錯誤をし、応用出来る力を 身につけ実践する。 【学びに向かう力、人間性等】 素材について、著作権を理解し、有 意義で個性ある作品制作ができる。	映像機器の使い方と注意事項	【知識及び技能】 カメラ、編集ソフトの特色と使い方の基礎 を理解し、使用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 各種ソフトウェアの適正を考え、表現の試行 錯誤をし、応用出来る力を身につけ実践す る。 【学びに向かう力、人間性等】 素材について、著作権を理解し、有意義で個 性ある作品制作ができる。	0	0	0	26
2 学期	アニメーションを制作する 【知識及び技能】 カメラ、編集ソフトの基礎を理解 し、使用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 各種ソフトウェアの適正を考え、表現の試行錯誤をし、応用出来る力を 身につけ実践する。 【学びに向かう力、人間性等】 素材について、著作権を理解し、。 意義で個性ある作品制作ができる。	アニメーション制作	【知識・技能】 基礎的知識と技能を学ぶことができる。 【思考・判断・表現】 演習を通して試行錯誤をし、判断したことを 表現する力につなげることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題を通じて、個性ある作品制作ができる。 より効果的かつ多面的に自己の特徴を発見 し、自主的な学びをおこなうことができる。	0	0	0	26
3 学期	自由作品を制作する 【知識及び技能】 カメラ、編集ソフトの特色と使い 方の基礎を理解し、使用することが できる。 【思考力、判断力、表現力等】 各種ソフトウェアの適正を考え、表 現の試行錯誤をし、応用出来る力を 身につけ実践する。 【学びに向かう力、人間性等】 素材について、著作権を理解し、有 意義で個性ある作品制作ができる。	自由制作	【知識・技能】 基礎的知識と技能を学ぶことができる。 【思考・判断・表現】 演習を通して試行錯誤をし、判断したことを表現する力につなげることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題や発表の機会を通じて、個性ある作品制作ができる。より効果的かつ多面的に自己の特徴を発見し、自主的な発表をおこなうことができる。				26
	_						合計 78

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 アートクラフト 科目 デッサンⅡ

教 科: アートクラフト 科 目: デッサンⅡ	単位数:	2	単位
-------------------------	------	---	----

対象学年組:第 3 学年 A 組~ 組

使用教科書: (

教科 アートクラフト の目標:

【 知 識 及 び 技 能 】金属工芸技法を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する

【思考力、判断力、表現力等】各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する

【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢と個性的な造形力を養い、世に有意義な制作や活動ができる能力を身につける

科目 デッサンⅡ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】				
画材の扱いに慣れ、人体や物の構造を意識する		形に添った表現を丁寧に積み重ねて対象物を 理解する				

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1 #	木炭デッサンの描き方を理解し対象 物を立体表現する 石膏像(胸像)	木炭紙と木炭の芯抜きの基本 立体表現の為の稜線の描き方	【知識・技能】画材の扱いに慣れ、人体や物の構造を意識する 【思考・判断・表現】短時間でモチーフの印象を踏まえて立体表現が出来る 【主体的に学習に取り組む態度】形に添った表現を丁寧に積み重ねて対象物を理解する	0	0	0	12
学期	石膏像 (胸像)	立体表現の為の稜線の描き方		0	0	0	12
2 学	石膏像(胸像)	立体表現の為の稜線の描き方	【知識・技能】画材の扱いに慣れ、人体や物の構造を意識する 【思考・判断・表現】短時間でモチーフの印象を踏まえて立体表現が出来る 【主体的に学習に取り組む態度】形に添った表現を丁寧に積み重ねて対象物を理解する	0	0	0	14
- 期	ベルヴェデーレ、ミロのヴィーナス (石膏全身像)			0	0	0	16
3 学	ベルヴェデーレ、ミロのヴィーナス (石膏全身像)		【知識・技能】画材の扱いに慣れ、人体や物の構造を意識する 【思考・判断・表現】短時間でモチーフの印象を踏まえて立体表現が出来る 【主体的に学習に取り組む態度】形に添った表現を丁寧に積み重ねて対象物を理解する	0	0	0	12
- 期	ベルヴェデーレ、ミロのヴィーナス (石膏全身像)	立体表現の為の稜線の描き方		0	0	0	12 合計 78